

『雪対策功労賞』受賞

児童・生徒の雪に関する研究発表会

秋田県

積雪寒冷の地である秋田において冬を楽しく、快適に暮らすために雪氷の科学を熟知し、冬の自然現象に接し、科学する心を養うことが不可欠であることから、児童生徒を対象とした雪に関する研究発表大会を実施しています。発表会は昭和59年以来17回を数え、小中高校生からユニークな研究が寄せられており、中にはフランスの小学校新聞で紹介されたケースもあります。

研究の対象は雪氷に関するものなら分野を問わず、会誌「雪輪」に掲載され、広く県民への理解を深めることにより、雪国の新しく住み良い地域づくりに資することをねらいとし、さらに子供たちの自発的な研究作業が、家庭、学校、社会の連携を密にする要因にもなり、科学する姿勢、心を養うことにも寄与することから、学校教育を補完する役割をも果たしています。



実施機関：
秋田雪の会

